

平成 24 年度東口地域地震防災訓練概要

1. 目的

新宿区の直下型地震の想定によると、医療機関で受け入れできないほどの多数の重傷・軽傷の負傷者が発生するとともに、交通機関が寸断し帰宅困難者が発生することから、初動からどのような行動すれば良いか、昨年、実施した訓練で抽出できた課題を、今年度、解決するための実践的な訓練を実施することにより、地域防災力の向上を目指す。

2. 日時

平成 25 年 1 月 17 日(木) 10:00~12:00

3. 場所

東口現地本部

- ・新宿区役所第一分庁舎 1 階 (新宿区歌舞伎町 1 丁目 5 番 1 号)

応急救護所(トリアージポスト)、応急手当所(軽傷者のみ)

- ・ハイジア 1 階 (新宿区歌舞伎町 2 丁目 44 番 1 号)

医療機関(重傷者のみ)

- ・大久保病院 (新宿区歌舞伎町 2 丁目 44 番 1 号)

※ハイジア 1 階に大久保病院と仮想した場所を用意

反省会

- ・ハイジア 1 階 (新宿区歌舞伎町 2 丁目 44 番 1 号)

4. 訓練想定

想定事象

日時:平成 25 年 1 月 17 日(木) 午前 10 時発災

震度:都内で震度 6 強以上の地震が発生

規模:M7.3 震源地:東京湾北部(平成 24 年 4 月「首都直下地震等による東京の被害想定報告」)

5. 訓練内容

(1) 東口現地本部立ち上げ及び運営訓練

各事業所 → 東口現地本部立ち上げ → 情報共有 → 情報収集伝達

(2) 負傷者対応訓練

搬送優先順位付け → 搬送 → トリアージ → (重傷者)医療処置 → (軽傷者)応急処置
(傷病者の選別)

(1) 東口現地本部立ち上げ及び運営

情報収集はどこへ

各事業所 スタート

- ↓ ★新宿ルールに基づき知り得た情報を現地本部へ
- ↓ ※各事業所で多数の重傷・軽傷の負傷者が発生したシナリオ

東口現地本部

- ・新宿区役所第一分庁舎 1 階（新宿区歌舞伎町 1 丁目 5 番 1 号）
- ↓ ★駆けつけたもので現地本部立ち上げ
- ↓ ※現地本部立ち上げマニュアルに基づき、誰でもあらかじめ第一分庁舎 1 階北側倉庫に備蓄されたボートから準備開始
- ↓ ★現地本部にて情報共有
- ↓ ※現地本部運営マニュアルに基づき、本部運営スタッフがなくても
- ↓ ★各種情報ツールから情報収集
- ※協議会メンバーでは集められない情報収集(鉄道、医療機関等)

誰が

- ★協議会メンバー
- ◆医師会
- 大久保病院
- ▲特定メンバー

(2) 負傷者対応訓練

重傷者が発生した場合どこへ

※重傷者のみを大久保病院に搬送するルールのため、傷病者の選別をして各事業所の現場レベルで傷病者の搬送優先順位付けをする必要がある。

東口現地本部

- ↓ 模擬負傷者発生
- ↓ ★傷病者の搬送優先順位付け
- ↓ ※事前の傷病者の選別のレクチャーに基づき、模擬負傷の程度に応じて
- ↓ ★担架・ブルーシートで「赤」重傷者のみを応急救護所(ハイジア)まで搬送
- ↓ ※事前のブルーシートのレクチャーに基づき

応急救護所

- ・ハイジア
- ↓ ◆ハイジアで、トリアージポスト、応急救護所設置
- ↓ ◆到着後医師会によるトリアージのデモンストレーション「赤」は大久保病院へ

医療機関

- ・大久保病院
- ↓ ●大久保病院で「赤」重傷者に対する医療処置のデモンストレーション
- ※ハイジア 1 階に大久保病院と仮想した場所を用意

軽傷者が発生した場合はどう対処したら

※軽傷者は、事業所の現場レベルで応急処置を実施する。「応急手当所」の設置の検討

応急手当所 ← 「緑」軽傷者のみ ← トリアージ

- ・ハイジア
- ↓ 模擬軽傷負傷者発生
- ↓ ★軽傷者に応じた応急処置
- ※平成 25 年 1 月 10 日の応急救護講習会の内容に基づき、模擬負傷の程度に応じて